

# 令和8年度 江戸川区立葛西小学校・中学校 経営方針 < 概要 >

江戸川区教育委員会が掲げる「共生社会の実現に向けた教育」の推進

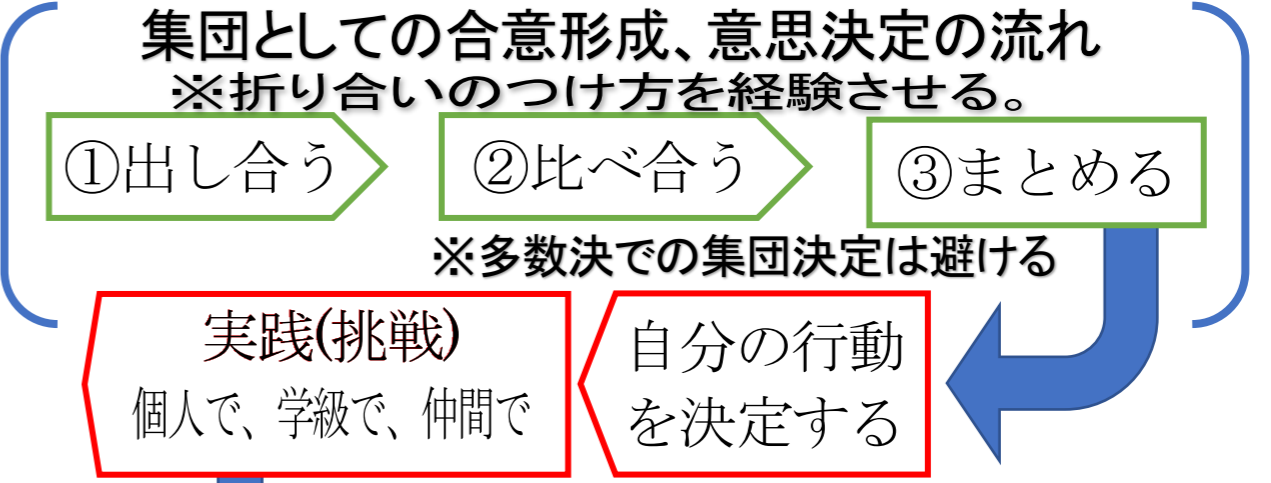
<p><b>&lt;学力の向上&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇区学力向上プロジェクト</li> <li>読解力、算数・数学、国語、英語</li> <li>◇教科アドバイザーの活用</li> <li>◇一人一台端末の活用</li> <li>◇少人数、習熟度別指導の支援</li> <li>◇小学校教科担任制の実施</li> <li>◇読書科の推進(コンクール実施)</li> <li>◇EDOスク(放課後学習教室)</li> <li>◇EDO学舎・EDO塾等</li> <li>◇ALTと連携した授業推進</li> <li>◇よむYOMUワークシートの実施</li> <li>◇電子ドリルの活用</li> </ul> <p>【成果指標の一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○区独自の学力調査</li> <li>○全国学力・学習状況調査</li> <li>○英語スピーキングテスト</li> <li>○江戸川っ子読書科コンクール</li> </ul>	<p><b>&lt;体力の向上&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇補助運動(中学校)の実施</li> <li>◇都体力調査の活用</li> <li>◇体力カルテの作成</li> <li>◇食育の推進(人材活用)</li> <li>◇歯みがき指導</li> <li>◇部活動の地域人材活用等々</li> </ul> <p>【成果指標の一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○都体力調査</li> <li>○江戸川っ子なわ跳び(小)</li> <li>○ダンスチャレンジ(中)</li> </ul> <p><b>&lt;その他&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇豊かな体験活動</li> <li>◇学校を支える様々な人材活用</li> <li>◇教員等の表彰(GTE・授業の達人)</li> <li>◇地域に開かれた学校の実現、他</li> </ul>	<p><b>&lt;不登校・いじめ対応の充実&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇「Hot Project」 ~孤立させない つながりをつくる プロジェクト~</li> <li>◇L-Gate『毎日の記録』の活用</li> <li>◇区内3か所教育相談室の活用</li> <li>◇校内別室活用、SC、SSWとの連携</li> <li>◇エンカレッジサポーター全中学配置</li> <li>◇教育相談センター</li> <li>・みらいサポート教室の活用と連携</li> <li>・不登校巡回教員の配置等(区内全小)</li> <li>◇バーチャルえどがわサポートルームの設置</li> <li>◆教育相談主任を松江一中に設置</li> </ul> <p>【成果指標の一部】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題行動等調査</li> <li>○ふれあい月間調査</li> <li>○いじめアンケート</li> <li>○校内別室指導の活用結果</li> </ul>
---	--	--

【目指す学校像】一人一人が輝ける学校 ~児童生徒も 教職員も 保護者も 地域も~

学級・学年目標達成に向けたアントレプレナーシップ教育からのアプローチ  
**社会課題の発見解決力・挑戦力・起業精神等)の推進**

学年主任による「目指す学年像」の設定 ⇄ 学級担任による「目指す学級像」の設定

児童生徒が主語となった話し合い活動による学年目標・学級目標の設定



課題解決・新たな取組につなげる

【『今あるもので、今ないもの』を創造し、集団・社会貢献へ】  
 学級活動、代表委員会(小)・生徒会活動(中)、クラブ活動(小)・部活動(中)、学校行事  
 各教科、総合、道徳、その他の学習活動・地域や学校外との連携  
 ★わくチャレパスポート、キャリアパスポートの面談での活用推進

輝かせるための「大作戦！」を積極的に仕掛ける

- 【効果(成果と課題)の 検証方法】
- 1 児童生徒への事前、中間、事後アンケート結果の推移
  - 2 児童生徒からのわく・チャレ・パスポートの報告結果の推移
  - 3 各学級等の「挑戦＝実践」取組と振り返り制作物(壁新聞等)の作成
  - 4 各教職員の組織内役割に応じた成果報告書(共通様式)の提出
  - 5 保護者や学校評議委員からの声(アンケート等)
  - 6 三学期の午後に報告会の実施(小・中合同で区内教職員に示す)

葛西小学校・中学校の協働力の向上を！  
 テーマは、つながる力 つなげる力

## 令和8年度の学校運営のテーマ

みんなが主体的に学校や地域の課題を発見し、協働的に課題解決を図る教育活動  
**アントレプレナーシップ教育(社会課題の発見解決力・挑戦力・起業精神等)の推進**  
 ~特別活動を柱とした**挑戦力の向上と社会参画意識の醸成**~  
 ※社会参画の「社会」とは家庭や学級、学年・学校を含めたものであるが、最終的には地域社会に貢献する意識につなげたい。

## 人がもつ「本能」をゆさぶる仕掛けづくりの工夫

~人が行動するときの二つの要因 内的要因 と 外的要因を意図的、計画的、組織的に迫る~  
 日常生活の中で「やらされる」のではなく、「自分でやろう」と思えた時、人は大きく成長する！

**学校外の活動**  
 趣味や習い事・個人やグループによる挑戦活動・貢献活動

**学校内の活動**  
 学習指導・生活指導・進路指導・学校運営・特別活動・課外活動等

**自己存在感の醸成**  
 わくわく・チャレンジ・パスポートの活用  
 <地域に開かれた学校の実現>

葛西小・中学校の「わく・チャレ・パスポート」について

本校には約1300人の児童生徒が在籍しています。その一人一人が日常生活の中で勉強やスポーツ、習い事や趣味などで自分の目標をかかげ、さまざまなチャレンジをしていると思います。

そんな児童生徒がどんなチャレンジ（挑戦）しているのかをたくさん知りたいという思いから始めた取組です。

1 取組名 「葛西 わくわく・チャレンジ パスポート」の発行

2 コンセプト 自分で自分をほめてあげよう大作戦！
～自分のがんばりをアウトプットしよう～

3 取組のねらい

- (1) 学校では知ることが難しい児童・生徒の「よさ」を発見・伸長する。
(2) 児童・生徒が「自己存在感」を感じられる場を提供する。(心の居場所づくり)
(3) 児童・生徒の言語力・表現力・発信力・自己決定力を育てる。
(4) 児童・生徒の安全・安心な気持ちをサポートする。

4 対象 葛西小学校5、6年生から中学3年生まで
※小学校1年生～4年生までは別の形態での実施となります。

5 取組の方法

- (1) 専用報告用紙に書き方のルールにそって記入する。
(2) 校長室前「わくチャレポスト」に投函する。
(3) 校長先生からわくチャレパスポートが発行され、押印付きパスポートとメッセージが返ってくる。
(4) 報告内容は卒業まで校長室に大切に保管される。
※報告内容に基準はなく、「自分のものさし」で判断してよい。ただし、国語力や表現力の向上も期待したいので誤字が無いように丁寧に、そして正しい文章で記入する。

※報告書は別紙の通りですが、ホームページからもダウンロードできます。

報告内容の基準は自分の判断（自分のものさし）でOK！

Table with 2 columns: <参考例>活動・取組内容 and <参考例>取組で学べたこと. It lists various activities like sports, art, and school events with corresponding learning outcomes.



チャレンジ実践報告用紙
報告内容の基準は自分の判断（自分のものさし）でOK！

※提出すると校長先生から「葛西わくチャレパスポート」が発行され、その実績は校長室で卒業まで保管されます。月に1回の報告を目標に！

【この取組のねらい】

- 1 学校では把握することが難しい児童・生徒の「よさ」を発見・伸長する。
2 児童・生徒が「自己存在感」を感じられる場を提供する。(心の居場所づくり)
3 児童・生徒の言語力・表現力・発信力・自己決定力を育てる。
4 児童・生徒の安全・安心な気持ちをサポートする。

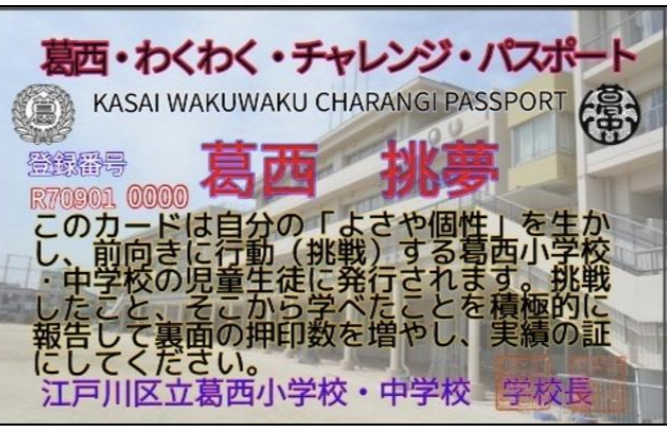
この用紙は、
小学校5、6年生
中学1年～3年生
専用です。

<提出方法> 報告書は、校長室入り口の「葛西わくチャレポスト」に折り畳んで投函してください。
二回目の報告からは、わくチャレパスポートも一緒に報告用紙に包んで提出をしてください

- ※1 報告書を提出するときのルール【5つの要素(4W1H)+学んだこと】を必ず記入しましょう。
①いつ(When) ②どこで(Where) ③誰が(Who) ④何を(What) ⑤どのように(How)
※2 作文の練習として漢字の使用を心がけて丁寧に記入しましょう。二回目の提出からパスポートも

Form for reporting with fields for name, year/grade, and activity details. Includes a section for 'そのこと(活動・取組)によってどんなことが学べましたか。' with a note to be specific.

※報告用紙は、校長室入口に用意しますが、本校のホームページからもダウンロードできるようにします。
<<表面>> <<裏面>>



Instructions for the card: 'このカードは大切に保管してください。' and a grid of 10 red circular stamps for recording achievements.